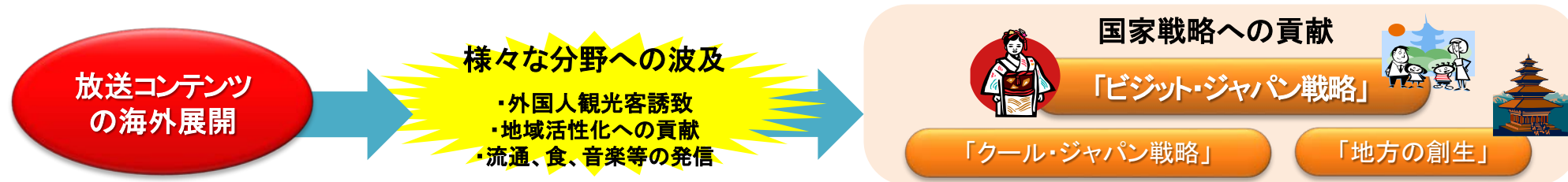


放送コンテンツの海外展開

平成28年2月
総務省情報流通行政局
情報通信作品振興課

1. 目的・対象国

- 放送コンテンツの海外展開を通じて、日本の魅力を継続的に発信するとともに、番組と連動した取組を通じて、「ヒト・モノ・カネ」の移動を促進させることにより、「ビジット・ジャパン戦略」、「クール・ジャパン戦略」、「地方創生」等に貢献。
- 今後、中間層が拡大し、相対的にインバウンド・アウトバウンドの高い上昇効果が期待できるASEANを中心としたアジアの新興国を対象に事業を実施。とりわけ、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマーを重点6カ国と位置付け展開。



2. 事業の実施状況

- ①放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業(平成25年度補正予算)
→ 13カ国・地域、43事業を実施
(主な展開国) インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、台湾等
- ②地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業(平成26年度補正予算)
→ 14カ国・地域、34事業を実施
(主な展開国) インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、台湾等

『PRIDE FISH from JAPAN!』 【山陰中央テレビ】(シンガポール)

- 山陰中央テレビとシンガポールの制作会社(The Void Deck)が日本の魚を紹介する情報バラエティを共同製作。全国漁業協同組合連合会とも連携し、兵庫・島根・広島・東京の漁師が選んだ本当においしい魚(「PRIDE FISH」)(※)を取り上げ、魚の美味しさや漁業者のこだわりを紹介。
※もみじ鯛(兵庫)、のどぐろ(浜田)、マグロ(築地)等
- シンガポールにおける全国漁業協同組合連合会の日本食レストラン(「WADATSUMI」)と連携し、番組と店舗が連動したプロモーションを実施。番組放送後、「WADATSUMI」の売上高が増加(2016年1月時点において、2015年2月のオープン当初比、約180%増)。

<放送概要>

- 放送先 : 日本専門チャンネル
「Hello! Japan」(シンガポール)
- 放送期間 : 2015年3月(全4回)

『Hello Hokkaido』 【北海道テレビ】(タイ)

- 北海道テレビが、北海道の観光・農産品・食をタイ人のレポーターが紹介する番組を製作し、タイの地上波(Amarin TV)にて放送。
- AEONタイランド等と連携し、北海道物産展(「うまいっしょ北海道」:三日間で2万千人動員))において、番組の映像を活用しながらコロッケを販売した他、番組内で紹介した道産コロッケを現地74店で販売。当初4ヶ月での販売を想定していたコロッケ16万個が、2ヶ月余りで完売。

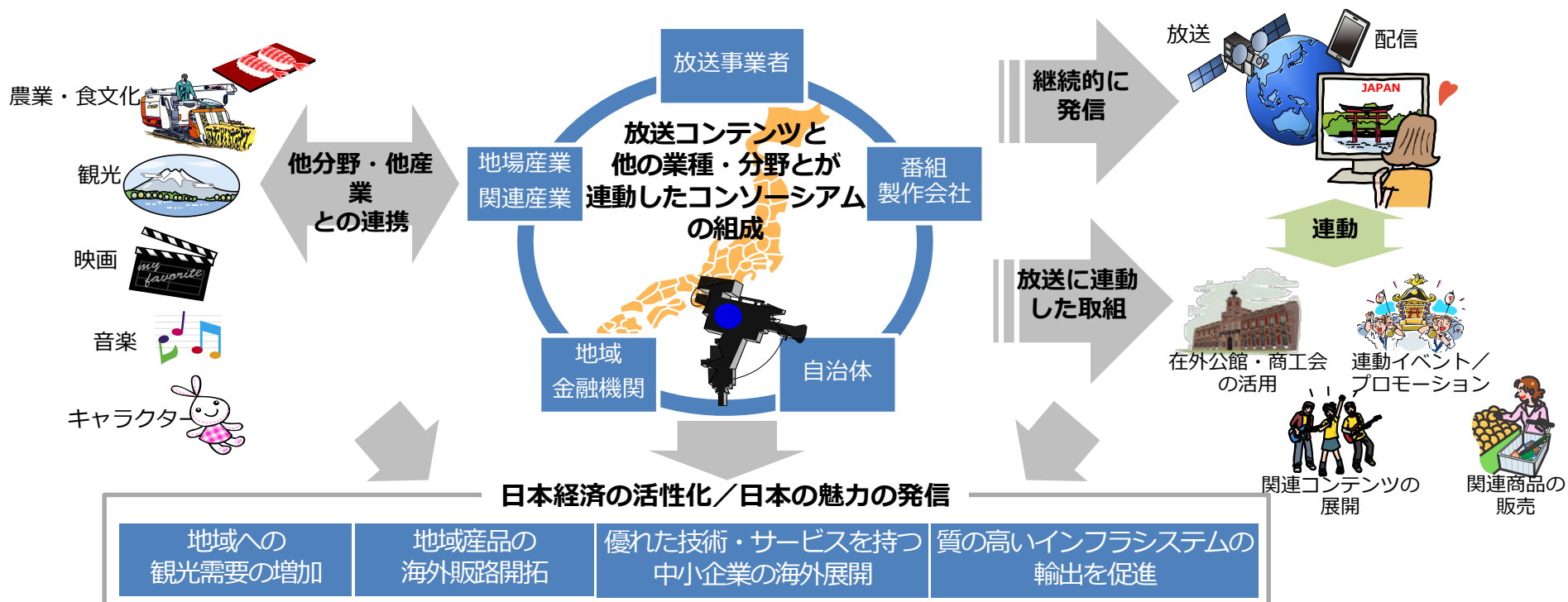
<放送概要>

- 放送先 : Amarin TV 34ch(タイ)
- 放送期間 : 2014年10月～2015年3月(全3回)

<概要>

放送コンテンツを制作する民間事業者等と、他分野・他産業（観光業、地場産業、他のコンテンツ等）、地方公共団体等の関係者が幅広く協力し、「クールジャパン戦略」、「ビジットジャパン戦略」、「地方の創生」、「T P P協定の活用促進による新たな市場の開拓」等に資する放送コンテンツを制作、発信するとともに、様々な連動プロジェクトを一体的に展開する取組を支援する。

H 2 7 補正予算	放送コンテンツの海外展開総合支援事業	1 2 億円
H 2 8 当初予算（案）	放送コンテンツ海外展開助成事業	2.2 億円



1. 「放送コンテンツの権利処理に関する連絡会」の設置

<放送コンテンツの権利処理に関する連絡会>

放送コンテンツの海外展開に当たり、①実演家に係る権利処理の更なる迅速化・効率化、②レコード原盤権に係る権利処理の一層の円滑化に関する具体的な対応の状況について、関係者間での円滑な情報の共有を図ること、その他必要に応じて権利処理の迅速化・効率化を図る方策について連絡・調整を行うことを目的として設置。

実演家

映像コンテンツ権利処理機構 (aRma)
日本音楽事業者協会

レコード製作者

日本レコード協会
キングレコード
ユニバーサルミュージック
ソニー・ミュージックエンタテインメント
ワーナーミュージック・ジャパン
エイベックス・グループ・ホールディングス

放送事業者

日本放送協会
日本民間放送連盟
日本テレビ
TBSテレビ
フジテレビジョン
テレビ朝日
テレビ東京

有識者

末吉 亙 (弁護士)
龍村 全 (弁護士)

オブザーバー

放送コンテンツ海外展開促進機構
(BEAJ)
文化庁 著作権課

<実演家実務者連絡会>

- 実演家に係る権利処理に関する実証実験(平成25年度から平成26年度末まで)の結果に基づき、今後、国内放送と同時の海外展開を可能とするための権利処理の更なる迅速化・効率化に向けて、権利者側、放送事業者側の双方の実務者間で連絡・調整を行う。

<原盤権実務者連絡会>

- 原盤権に係る権利処理に関する実証実験(平成25年度から平成27年度末まで)の実施状況、さらには実証実験が終了した後の28年度以降の権利処理の一層の円滑化について、権利者側、放送事業者側の双方の実務者間で連絡・調整を行う。

2. 開催状況

- 平成27年12月 2日 放送コンテンツの権利処理に関する連絡会(第1回)開催
- 平成27年12月22日 実演家実務者連絡会(第1回)開催
 - ・ 実演家に係る権利処理の更なる効率化に向けた当事者間における調整状況の情報共有・確認
- 平成28年 2月 中旬 原盤権実務者連絡会(第1回)開催予定
 - ・ 原盤権に係る権利処理の一層の円滑化に向けた当事者間における調整状況の情報共有・確認(予定)